

第6回開校準備部会においては、平成28年9月28日に行われました第5回開校準備部会での議論を踏まえ、分校名案について審議しました。また、10月25日に実施された通学安全点検の結果をもとに、通学安全について議論しました。

◆ 第6回開校準備部会での決定事項など ◆

- 分校名案については、「市場小学校けやき分校」とすることを開校準備部会の意見とする。
- 通学安全要望については、要望書案を開校準備部会の意見とし、部会終了後に部会から関係機関へ提出する。

1 分校名案について

第二方面校の分校名案について、市場小で児童からアンケートをとり、その中から分校名案を3つ選定し、選定した3案について、部会で審議しました。

（選定方法）

市場小の児童を対象に、アンケートにより分校名案を公募し、その結果をもとに、市場小教職員で3案に絞る。

（分校名案）

	分校名案	よみかた	票数
1	市場小学校けやき分校	けやきぶんこう	58票
2	市場小学校第二分校	だいにぶんこう	53票
3	市場小学校輝き分校	かがやきぶんこう	29票

（総数：339票）

（アンケート等について、市場小校長からの補足説明）

全児童に対してアンケートをとる形で、児童会が、親しみが持てる、自分たちが意欲をもって取り組めるということにつながる名前を考えようと児童に呼びかけた。分校名案の1、2、3は圧倒的に票数が多く、意味があるものが出てきている。

「けやき分校」というのは、学校の門を入ったところに大きなシンボルツリーになっているけやきがあるということ、学校の教育目標のスローガンに「けやきとまち」というのがあり、けやきの「け」が「健康・元気」、「や」が「やる気で学習」、「き」が「決まりを守る」というようなことで、その頭文字をとって「けやき」、それと「まちの中で輝く子」ということで「まち」がスローガンになっている。「第二分校」は、やはり本校が第一で、分校が第二という意識で単純に第一、第二という考え方、「輝き分校」は、自分達が輝きたいということだった。

児童数1,052名で総数339票の応募だが、全校に呼びかけて、自由応募ということでこういう結果になっている。教職員も児童の得票数で上位3つということで、これを部会に出すことを了承し、持ってきた。

審議の結果、全会一致で「市場小学校けやき分校」に決定。

【部会委員からの主な質問や発言】

（凡例 ☆：各委員からの発言）

☆：新しく建つ校舎にけやきはあるのか。

☆：さわやか公園にはある。新しい学校には10年間限定ということで、苗を植樹できれば、それを自分たちの成長と捉え、元に戻ることにできれば本校に移したい。

（次ページに続く）

☆：ただの木ということではなく、「けやき」という言葉に意味があり、子ども達がそういうことで出してきたのであれば、良いのではないかと思う。

☆：分校名はけやき分校というので良いのではないか。

☆：「けやき」は、教育目標にもあり、素敵だと思う。

☆：けやき分校は、意味もあり、良いと思う。

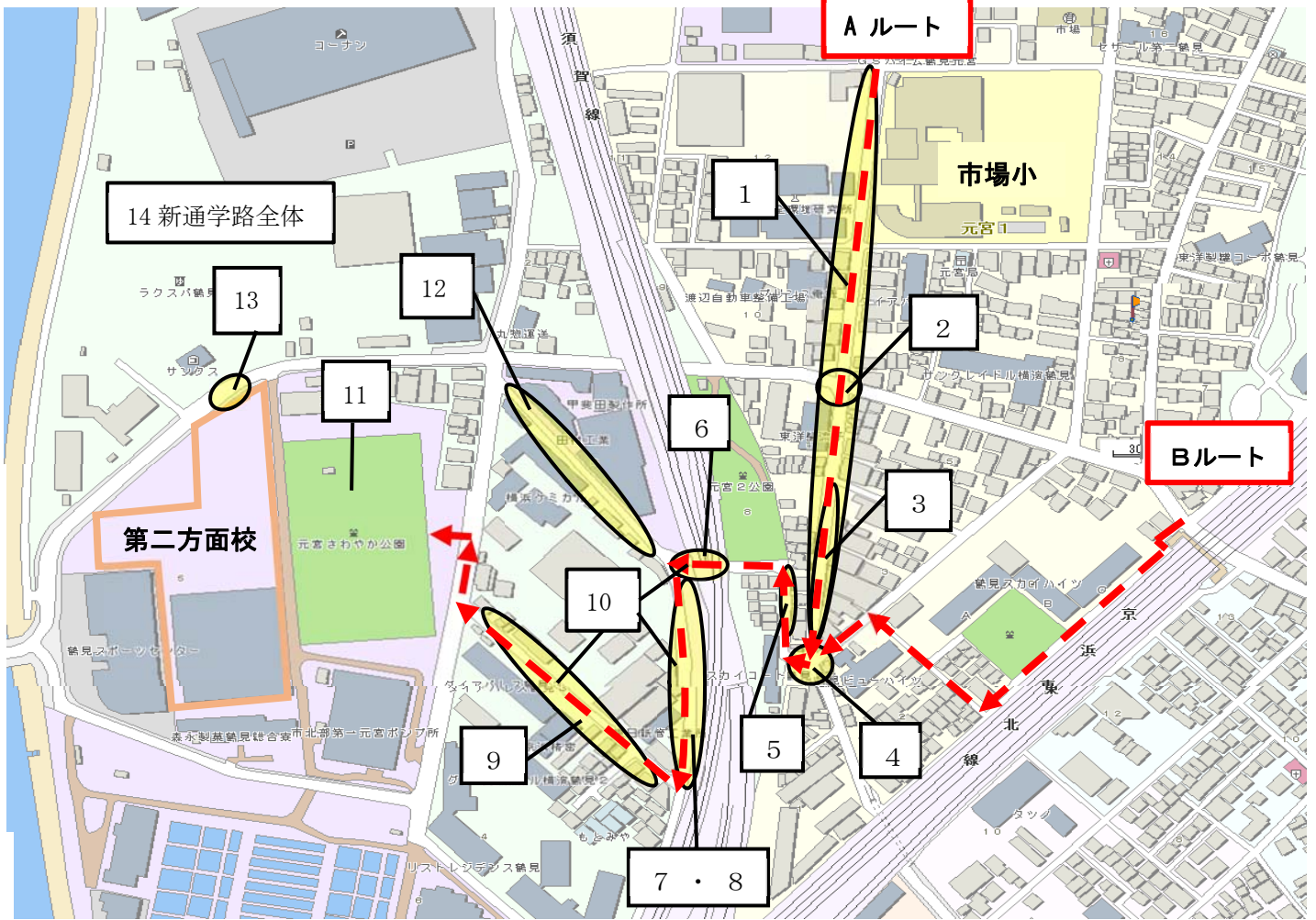
2 通学安全について

10月25日(火)にPTA・校外委員の皆様、学校長、事務局を中心に第二方面校予定地まで2ルートに分かれて、それぞれ想定される通学路上の安全点検を実施しました。点検の結果については、下記のとおり14か所の要望を「市場小学校第二方面校開校に伴う通学安全に関する要望書」としてまとめ、部会終了後に開校準備部会から鶴見区長や鶴見警察署長等の関係機関に提出することになりました。

(要望場所一覧)

	要望場所	要望内容(要望理由)
1	市場小北西側交差点からスカイコート鶴見2東側四叉路までの直線道路	グリーンベルトの整備
2	レッツゴー保育園前交差点	歩行者用信号の設置
3	元横浜冶金工業(株)からローズハイツまでの道路	街灯の整備
4	スカイコート鶴見2東側四叉路	「子ども飛び出し注意」等注意喚起の標識の設置(道路が交錯し見通しが悪く、自転車・バイクの通行量が多いため)
5	元宮第二公園南側道路	ガードレールと植栽の改善(ガードレール内に植栽があり、外側を歩いてしまうため)
6	横須賀線ガード下	・車の路上駐車を取り締まり ・壁の営繕 ・街灯の整備 (暗く、壁が汚れていて雰囲気が悪いため)
7	横須賀線沿いの道路	・街灯の整備 ・車の路上駐車を取り締まり (路上駐車の影響から飛び出しの危険があるため)
8	横須賀線沿いの緑地	緑地の管理
9	ダイアパレス鶴見Ⅲ沿いの道路	グリーンベルトの整備
10	横須賀線西側から第二方面校までの通学路	カメラ設置等の防犯対策の強化(人通りが少なく、不審者が出没するため)
11	さわやか公園内	照明の整備(公園内に照明が設置されていないため)
12	田村工業(株)と横浜ケミカル(株)の間の道路	街灯の整備
13	ベルク前の道路	・横断歩道の設置 ・歩道の設置
14	新通学路全体	スクールゾーンの表示

(地図)



【部会委員からの主な質問や発言】

(凡例 ☆:各委員からの発言)

☆: 通学安全点検で実際にこの場所を歩いてきた。要望箇所は細かくまとめていただいたとおりで、10番のところは、車というよりも、むしろ不審者への対策が必要になるかというところだ。そのためには、横須賀線ガード下のように、雰囲気がよくないところは綺麗にしてもらえるよう、スクールゾーン対策協議会などを通じての陳情が大切になってくると同時に、人の目が大切になるという部分では、私たちも行政や警察を頼るだけではなく、動いていく必要が出てくると思う。

☆: 跨線橋からベルクや第二方面校までの一本道で行くのが一番の近道になるが、道幅が狭く、信号を待つたまりがない。この道を選択し、分校へ5・6年が通うとなると、帰りの時間はほぼ同じ時間になるので、10~15分の間に一番多いときで700人がこの道を移動することになる。朝の時間も同様で、他の歩行者とのすれ違いも考えると、本当に厳しい状態になるので、車と歩行者を少しでも気にしないでいように考えているのが、このルートになると思う。このルートは、車は安全だが、他に不審者等の対応はとっていかねばならないので、これから開校までに考えていきたいと思っている。距離にすると、跨線橋からまっすぐベルクの前まで行くのに比べ、Bルートを通って行くほうが500m程度長くなるが、5・6年生の足で500mというのは、無理な距離ではないと考えられる。

☆: 心配なのは、道幅が狭いということと、不審者への対応。防犯カメラはぜひとも設置してもらいたい。人気がないことと、街灯も少ないのでその整備はぜひともやってもらいたい。

☆: さわやか公園からは中を通ってまっすぐに昇降口まで橋が架かることになるので、さわやか公園の中にも照明を設置していただかないと冬の下校時刻は厳しいと思われる。

☆: 元宮の中を抜けるとなると、ルートとしてはこれしか方法がなく、一番安全なルートだろう。交通の安全面では、この道路は車の通行量はほとんどないので問題はないと思うが、やはり防犯上の安全ということで考えると、防犯カメラをつけてもらうのが一番いい。人通りが全くないというわけではないが、冬の時期になると暗くなる。そういったところを開校までの間に考えてもらえればと思う。

(次ページに続く)

- ☆：地下道はなぜだめなのか。物理的に無理というのであればそれはわかるが、一般の人は通っている。安全対策をすれば通れるようになるのか。物理的に危ないからだめというのであれば、このルートで仕方ないのかと思う。
- ☆：地下道の中で曲がっているので、見通しがきかず、先まで見えないのが問題だ。道幅も狭い。自転車もバイクも通るので、カメラをつけたところで、安全性を確保するにはだめだと思う。
- ☆：地下道は曲がっていて見通しが悪い、暗くて危ない、自転車もバイクも走っているということで、その辺りの規制をきちんとして、照明やカメラを設置してというのであれば、ひとつの案にはなるかもしれない。
- ☆：地下道を通ることができれば言うことはないが、危険だということは十分知っているので、遠くても安全性をとる。
- ☆：地下道を通ることができれば一番いいが、現状では無理だと思う。今のままでは、通学路として指定するときには跨線橋を迂回してというところは仕方ない。
- ☆：通学路の安全が確保されない限りは、分校にするかどうかといったことも考えられないという意見はたくさんあった。もう少し明るくて安全で、ただ防犯カメラの設置だけではないようなことを考えてもらいたい。
- ☆：地下道については、今までもずっと地域と役所で議論してきたが、今すぐなにかするところからは程遠い。そういうこともあり、この要望書ができあがったところだろう。
- ☆：市場の跨線橋の踏切のところ、開かずの踏み切りになるので、朝の通勤時間帯は自転車もバイクも迂回して、川崎方面に行くか、地下道に回るかになる。ただでさえ急いでいる人たちが迂回して、急いで地下道の坂に突っ込んでくる状況なので、朝の子ども達が一斉に学校に行く時間帯に突っ込んでくる自転車やバイクを相手にしなければならぬのはすごく大変なことだと思う。
- ☆：なぜ地下道はだめなのかという意見は出ると思うが、保護者が何をできるのかというところに立ち返って、実際に通わせる子どもの安全を守るのは保護者だということで、考えていく必要がある。子どもの安全を守るためには、まずは保護者が何かやらなくてはだめだということで、難しいが人任せではないというところの意識の転換を図っていく必要がある。
- ☆：皆さんが言いたいことを好き勝手に言って要望ばかりを言っても始まらない。協力してやりましょうと、そうすれば地域からも色々なかたちでパトロールでも何でも、このルートで不安なところは地域も協力していくというスタンスでやると思う。協力しましょうという気持ちにならないと、自分たちはそれでは困ると一方的な意見だけ言っていてはいけないと思う。

◆第7回開校準備部会について

日 時：平成 29 年 1 月 26 日（木）19 時から
会 場：市場小学校 図工室
検討内容：意見書について

◆傍聴について

定 員：5 名（定員を超えた場合は、抽選となります。）
受 付：部会開始の 30 分前から 10 分前（18 時 30 分～18 時 50 分）まで、傍聴者の受付を行います。
傍聴を希望される方は、直接会場にお越しください。

◆市場小学校第二方面校開校準備部会の経過等について

部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧になれます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/kadaikibo/ichibadai2.html>
※横浜市教育委員会ホームページのトップページ上「トピックス」からも、上記 URL のページに入ることができます。



◆事務局（お問い合わせ先）

広く皆さまからのご意見やご質問を受け付けております。EメールまたはFAXにてお願いいたします。
横浜市教育委員会事務局学校計画課
Eメール：ky-ichibadai2@city.yokohama.jp
F A X：045-651-1417 T E L：045-671-3252